

雲竜溪谷山行報告

【山行日】2019年 2月 6日(水) 曇り時々雨

【集 合】栃本市運動公園 P AM 6:00

【費 用】マイカー1台 : 1100円

【メンバー】CL: 鈴木ユ 石川、伊藤、大西、岡、
成田、福島、渡辺

【コースタイム】栃本市運動公園 P8:00＝林道ゲート P7:10/7:30～稲荷川展望台 9:00/9:10～
洞門岩 9:30～雲竜溪谷入口 10:00/10:10～
雲竜溪谷 10:30/10:50～雲竜溪谷入口 11:10～
洞門岩 11:30/12:00～林道ゲート P13:00/13:10＝
栃本市運動公園 P14:10



今年もアンケートで雲竜溪谷に行きたいとリクエストがあり、いつものように平日山行で計画した。今年には崩落箇所があり通行困難との報道があったが、通れなかったら林道を行けば良いと思い出

かける。東北道から日光宇都宮道を進み、日光で降りて市内を通り林道ゲートの駐車場に着く。数台置ける駐車場はすでに満車で、手前の駐車スペースに車を止める。天気予報はあまり良くなく、昼ごろから一時雨の予報になっていた。準備を整えストレッチを済ませたら出発する。ゲート脇から林道を進み、九十九折れに登って行く。雪はほとんどないが、所々融けた雪が凍っているのだから氷に滑らないように注意して歩く。

曇っているが時折薄日が差し、前方の赤薙山は

ハッキリと山頂が見えていた。同じような景色を見ながらダラダラと登り、飽きたころ稲荷川展望台に着く。休憩を取り衣服調整をして、赤薙山と女峰山の景色を楽しむ。ここからさらに林道に登り、工事用の飯場がある広場が洞門岩入口になる。右側に降りて行き河原を進むと、ロープで道が規制されロープの間を進む。大きな砂防堰堤の間を通り、川を渡渉して進むと崖になり先に進めない。左右の崖を見回すと右岸の崖にピンクのリボンがいくつか見える。リボンに向かって急な斜面を登って行くが、その先は急な崖になっていて登れそうにない。



諦めて河原に降り、林道まで戻って林道を進むことにする。

この先の林道は雪が中途半端に残り、日向は雪が無く北側の日陰は雪が残っている。

雪が凍っていて滑りやすく、なるべく凍った雪の上は歩かないようにして登って行く。途中の分岐を右に降りて行き、平坦な広場の雲竜溪谷入口に着きここでアイゼンを付ける。急な階段を降りて河



原まで降り、何回か渡渉して進むと右側に大きな氷壁が現れる。初めての方達は氷の芸術に感動し、「ウワ～～凄い」と歓声を上げる。氷壁の前で記念写真を撮りさらに核心部へ進む。溪谷の奥に進むと巨大なツララが岩壁に下がり、自然が創り出す芸術には皆さん感動されていた。しばらく氷の芸術を楽しみ、大福をいただきながらのんびりする。しかし溪谷に着いた頃から小雨が落ちて来て、視界も悪くなってきた。この上の雲竜瀑まで登る予定だったが、天気が

悪くなってきたのでここから戻ることにする。来た道を戻り溪谷入口の広場でアイゼンを外す。林道の下りは雪が融けて流れた水が凍り、アスファルトの上に薄氷が付いている。これに乗ると100%滑って転んでしまう。皆さんに注意しながら我輩も薄氷に乗り、スッテンコロリンとコケてしまった。慎重に下って行き洞門岩でランチタイムとする。飯場の脇のテーブルを借りてお湯を沸かし、お汁粉を作ってカップ麺と一緒にいただいた。風は無いが小雪がちらつき寒いので、温かいカップ麺とお汁粉は最高の御馳走だった。ランチが済んだら林道をひたすら下り、ゲートの駐車場を目指す。駐車場に着き、靴を履き替えたらずに車に乗り帰路につく。途中、大谷 PA に寄ってお土産を買い、予定よりも早く栃木市運動公園に帰着した。

